

Data Contents

	経済動向
37	■ 九州の鉱工業生産動向
39	■ 福岡県の最近の経済動向
41	■ 熊本県の最近の経済動向
43	■ 長崎県の最近の経済動向
	経済指標
44	■ 全国のデータ
45	■ 福岡県のデータ
46	■ 熊本県のデータ
47	■ 長崎県のデータ
48	個人向けセミナー
53	海外拠点紹介



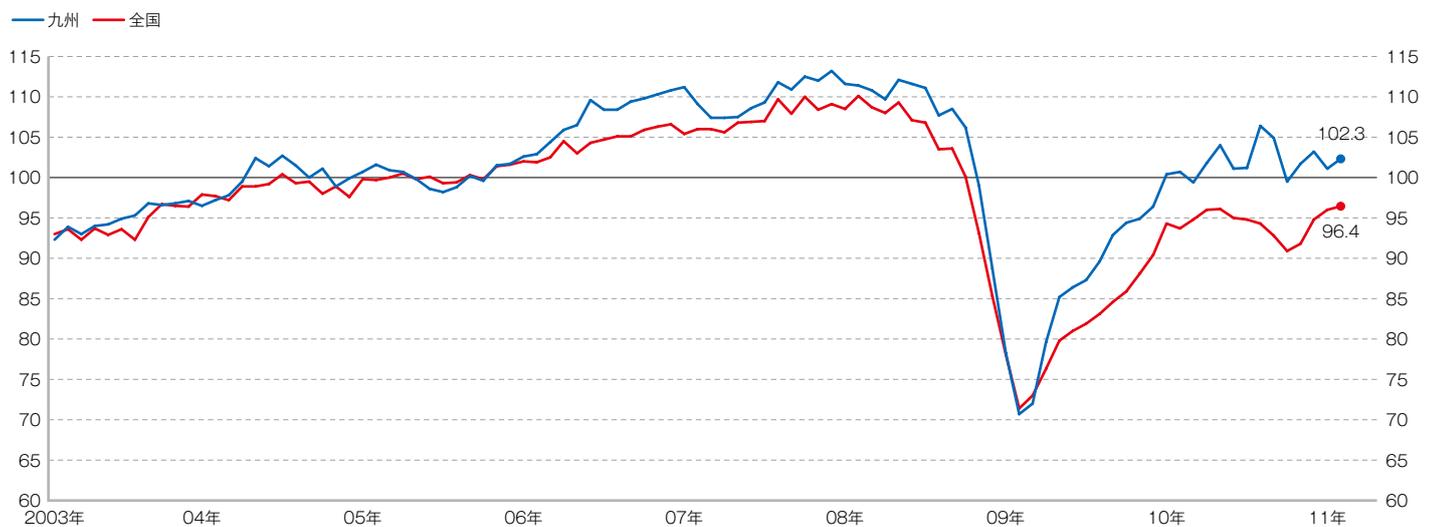
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 持ち直しの動きが続いている

2011年2月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、金属製品や輸送機械等の生産が伸び悩んだ一方で、一般機械や化学等の生産は好調であったことから、前月比1.2%上昇の102.3と2カ月ぶりに前年実績を上回る等、持ち直しの動きが続いています。しかしながら今後は、東日本大震災の影響も懸念される為、先行きには留意しておく必要があります。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

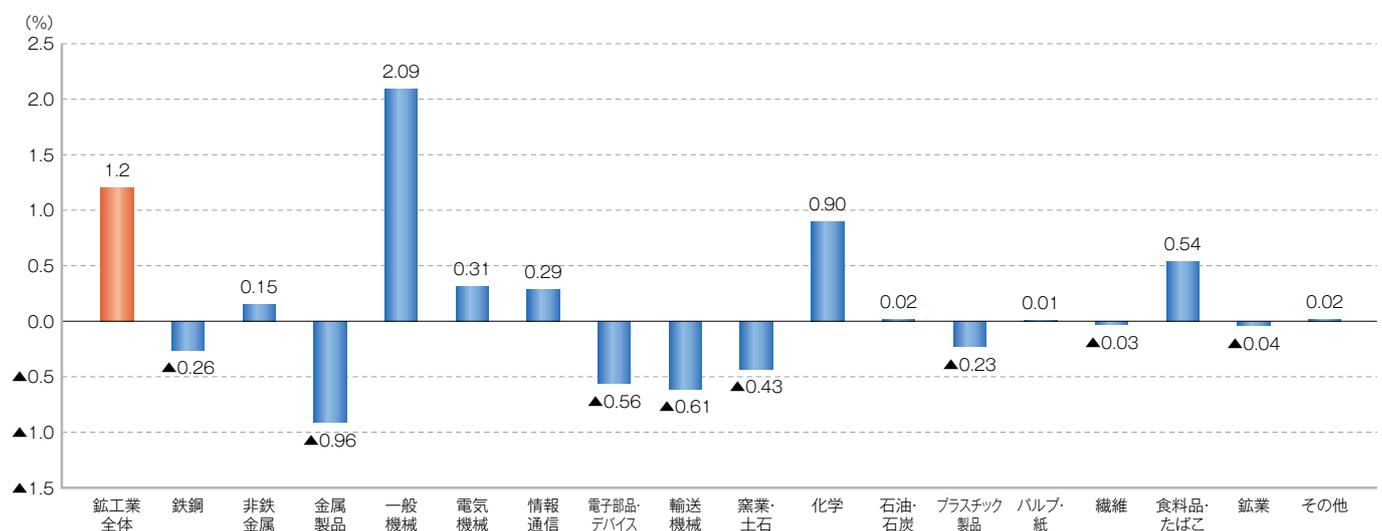


業種別動向 | 一般機械を中心に17業種中9業種で上昇

業種別では、国内向け鉄骨やビル用アルミサッシ等の生産が減少した金属製品が低下したほか、輸送機械等もマイナスに寄与しました。一方、一時的な生産減から反転した一般機械や、医薬品が好調な化学等、全17業種中9業種でプラスに寄与し、全体では小幅上昇となっています。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

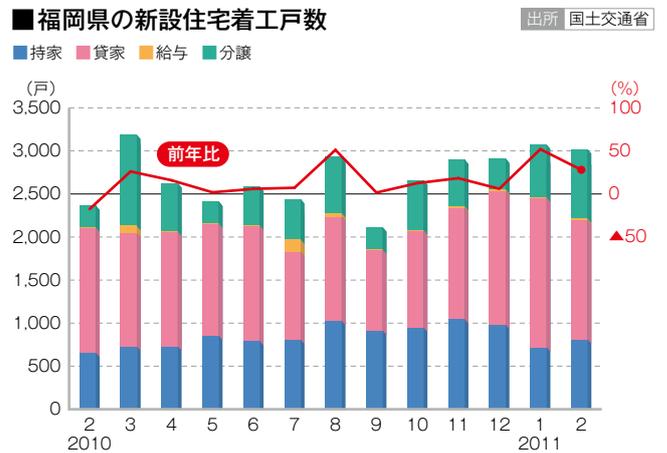
出所 九州経済産業局





住宅建設 | 12カ月連続で前年を上回る

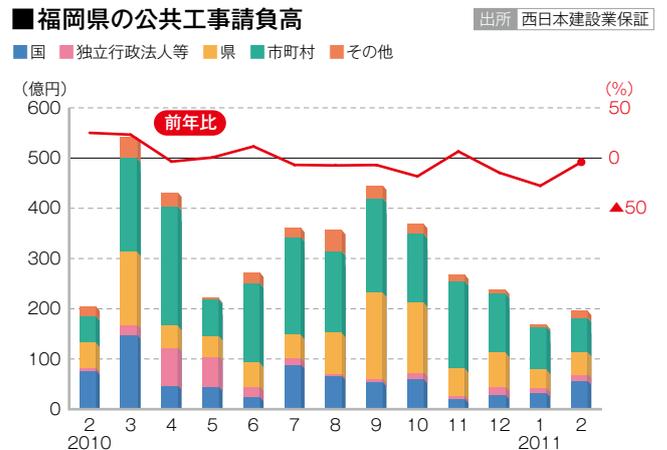
2月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年同月と比べ小幅減となったものの、引き続き住宅取得関連の優遇制度の効果等から、持家に加え分譲マンションが福岡市や北九州市を中心に大きく増加しています。全体では同27.6%増の3,017戸と12カ月連続で前年を上回りました。



公共工事 | 請負金額は3カ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比0.6%増の493件、金額は同3.8%減の197億円となりました。請負金額は3カ月連続で前年を下回りました。

発注者別にみると、下水道築造工事や賃貸住宅の大型案件等で「市町村」や「独立行政法人」が増加となった一方、「国」や「県」では前年を下回りました。



企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を下回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、17億円の大型倒産があったものの、件数は前年同月比2.8%減の35件、負債総額は同30.6%減の46億円と件数、負債総額ともに前年を下回りました。

前月比では、件数、負債総額共に増加しているものの、「中小企業金融円滑化法」や「景気対応緊急保証制度」といった金融支援制度が、倒産の抑制に寄与しています。



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

生産活動では、ディスプレイ製造装置等の生産が好調な一般機械が上昇したほか、輸送機械をはじめ他の業種も軒並み上昇する等、持ち直しの動きが見られましたが、今後については、東日本大震災の影響を受ける可能性もあり留意が必要です。

消費面では、大型小売店販売額は、主力の衣料品が堅調だったほか、バレンタイン商戦等が好調だった飲食料品が牽引役となる等、3か月ぶりに前年を上回りました。

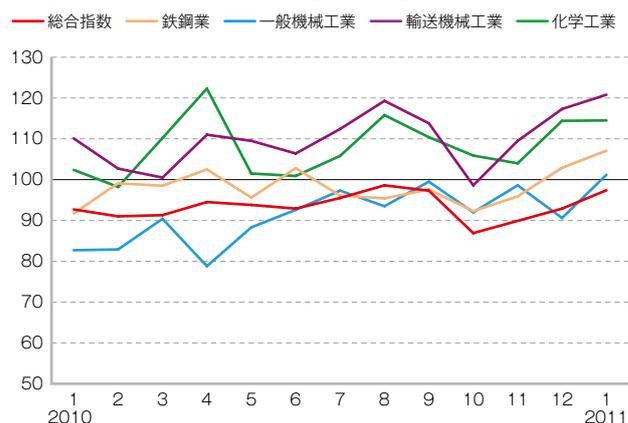
住宅建設については、住宅取得関連の優遇制度の効果もあって、持家取得の動きは引き続き堅調となっています。

生産活動 | 総合指数は3か月連続のプラス

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は97.4となり、前月比4.8%上昇しました。

主要業種では、ディスプレイ製造装置等の生産が好調な一般機械が前月比で上昇したほか、中国、北米向けの乗用車の需要が好調な輸送機械も上昇しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



大型小売店 | 3か月ぶりに前年を上回る

2月の大型小売店販売額は、前年同月比1.6%増の482億円と、3か月ぶりに前年を上回りました。

防寒衣料品や身の回り品の販売が堅調だったことに加え、バレンタイン商戦等が好調だった飲食料品が消費の牽引役となり全体ではプラスで推移しました。

■ 福岡県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局



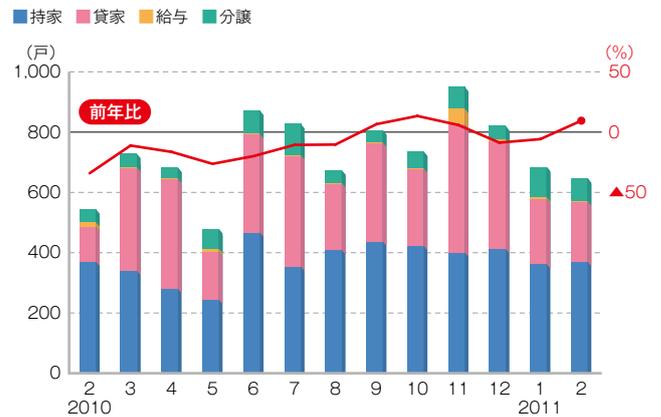


住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、持家は前年同月比横ばいだったものの、貸家や分譲戸建が好調だったことから、全体では前年同月比18.6%増の645戸と3カ月ぶりに前年を上回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



公共工事 | 請負金額は2カ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比37.5%減の303件、金額が同42.3%減の76億円となり、件数・請負金額共に2カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「国」で大型道路案件工事はあったものの、全ての発注者で前年同月と比べ減少しています。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



企業倒産 | 大型倒産発生により負債総額増加

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比21.4%減の11件、負債総額は同249.0%増の35億円となり、負債総額は前年を大きく上回りました。

前月比では、倒産件数は減少しているものの、サービス業で約25億円の大型倒産が発生したことにより負債総額は大幅に増加しています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動では、半導体製造装置が低調だった一般機械が低下した一方、電子部品・デバイスや輸送機械は上昇する等、持ち直しの動きが続いていますが、今後は東日本大震災の影響を受ける可能性もあり、留意する必要があります。

消費面では、大型小売店販売額は、主力の衣料品は横ばいながらも、バレンタイン商戦効果で飲食料品が好調に推移したこと等から、4ヵ月ぶりに前年同月比でプラスとなりました。

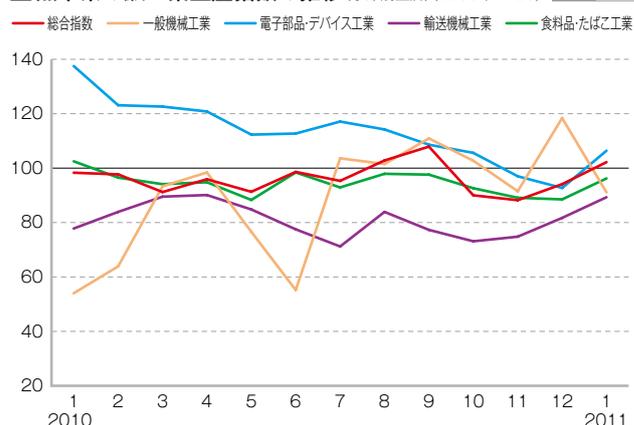
住宅建設は、住宅取得関連の優遇制度の効果等により、持家・分譲住宅が底堅く推移したことに加え、貸家も増加しました。

生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続でプラス

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は102.2となり、前月比で8.6%上昇しました。

主要業種では、一般機械が半導体製造装置の生産調整等で低下した一方で、電子部品・デバイスや輸送機械等が堅調に推移しました。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県

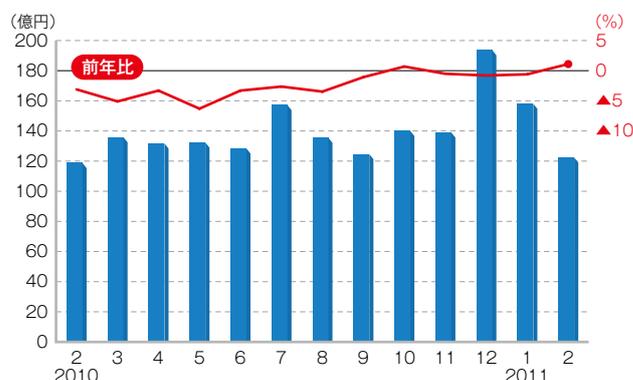


大型小売店 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の大型小売店販売額は、前年同月比1.1%増の122億円と、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

主力の衣料品は、横ばい圏で推移したものの、バレンタイン商戦等から飲食料品が好調で、全体ではプラスで推移しました。

■ 熊本県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局

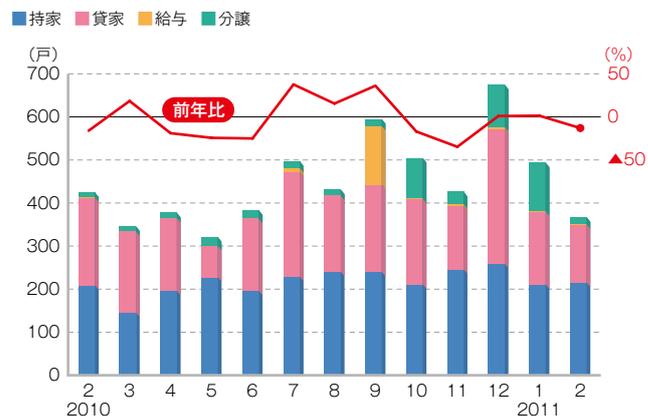


住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を下回る

2月の新設住宅着工戸数は、住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家、分譲戸建は前年同月と比べ僅かながら増加したものの、貸家が減少したことから、全体では前年同月比13.4%減の367戸と3カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



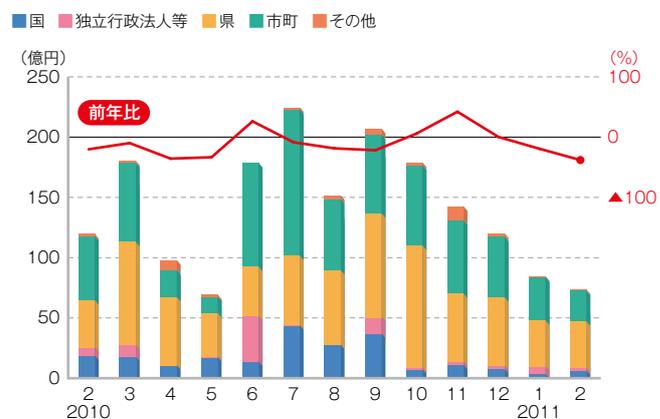
公共工事 | 件数、請負金額ともに前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比30.9%減の279件、金額が同38.4%減の74億円と、件数、請負金額ともに前年を下回りました。

発注者別では、全ての発注者で前年同月と比べ減少しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



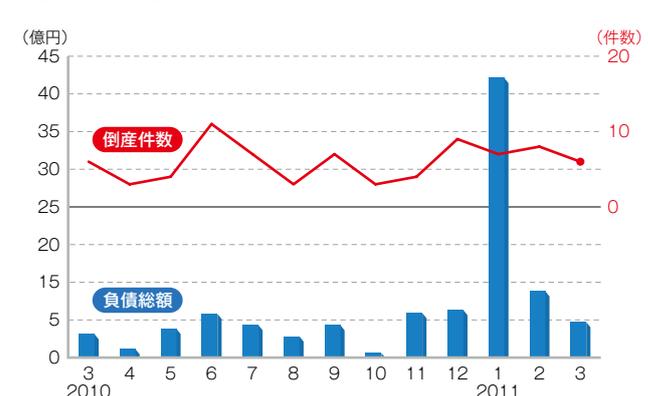
企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比変わらずの6件、負債総額は同51.6%増の5億円となりました。

大型倒産の発生もなく、前月比では件数、負債総額ともに減少しています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

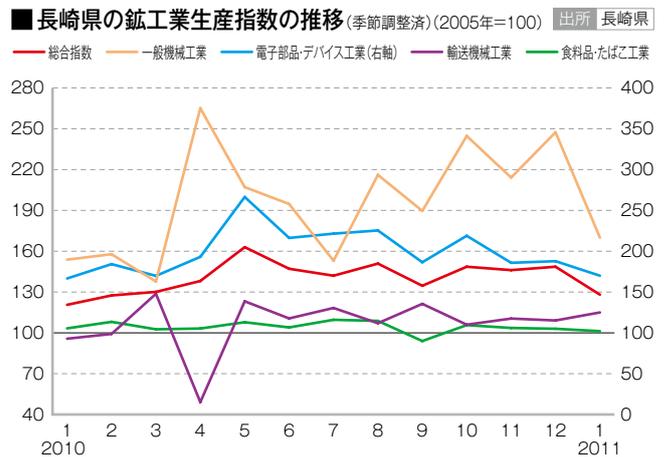
生産活動では、海外の発電設備向けボイラー等に生産調整が入り一般機械が大きく低下したものの、新造船等が堅調な輸送機械が上昇する等、生産自体は高水準を維持しており持ち直しの動きが続いています。しかしながら、今後発生する可能性のある東日本大震災の影響には留意する必要があります。

消費面では、大型小売店販売額は、主力の衣料品、飲食料品が好調に推移したことで、前年を大きく上回りました。住宅建設については、貸家が低調で前年実績を下回りました。

生産活動 | 指数は前月比マイナスながら、高水準を維持

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は128.0となり、前月比13.9%低下しました。

主要業種を見ると、海外の発電設備向けボイラーや蒸気タービン等に生産調整が入り一般機械が大きく低下した一方、新造船や船舶の修繕が堅調な輸送機械が上昇する等、生産は高水準を維持しています。



大型小売店 | 前年を大幅に上回る

2月の大型小売店販売額は、前年同月比5.2%増の91億円と、前年を大幅に上回りました。

主力の衣料品の販売が堅調だったほか、飲食料品もバレンタインデー等のイベント要因から好調に推移し前年を大幅に上回りました。

